

第1号議案

平成30年度 活動報告

●はじめに

コーダイの創立10周年式典&コーダイフェスタも盛会裏に終了しました。皆さんの努力に感謝致します。2018年10月の高齢者(65歳以上)は3,557万人で高齢化率は28.1%となりました。世界中で最も早い勢いで超高齢社会が進んでいます。コーダイ2,700名超、カレッジ500名超となりグループとしては3,300名弱になりました。私達コーダイの果たす役割は益々大きくなってまいりました。OKALS-V運動をさらに展開していきます。コーダイなにわの宮会を通して受講生の皆さんの理解、認識を深めます。

●基調報告

1. 認定NPO法人の取得に引き続き2018年11月大阪府条例指定NPO法人になりました。コーダイの社会的権威が又一段と高くなりました。
2. 創立10周年記念行事&コーダイフェスタを1月22、23日と2日間に亘り開催できました。盛会に終了でき感謝しています。初めて実施した被災地支援物販もよかったと思います。2日間合わせて5,000人以上を動員できました。台湾演舞も素晴らしかったと思います。
3. 校友会とコーダイとの連携活動も進んでおり毎月の会合に加え校友会フェスタを実施しました。北部同窓会も活動を開始し170名超の会員数となりました。残念ながら全体的には会員の減少が進んでおり対策が必要です。
4. 養父市との連携、被災地復興支援活動も進みました。コーダイフェスタには南三陸町をはじめ岡山、新潟、愛媛、熊本が物産展を開催しました。障がい者団体からの出品も良かったと思います。
5. ファンド部の強化により寄付金が大幅に増加しました。特に受講生の賛助会員が進みました。
6. 子どものための科学フェスティバルを天王寺区民センターで800名超の子どもを集め、実施しました。ご父兄を入れると1,500名強になりました。
7. BSC部門ではSA認定に加え、DDS活動、ボラバス、KOUDAI AWARDを実施しました。「修了後の活動の場」を実施し、校友会への入会を促進しました。
8. 広報部はマスコミに取り上げられる機会が増加し認知度が上がって来ました。松井大阪府知事との会談も実現し、コーダイのPRになったと思っています。

●教育部門

創立10周年を機に、取り巻く環境変化や受講生ニーズの多様化などを念頭に置いて、

新たなコーダイ像を目指し、足元をしっかりと固めながら先を見据えた方針を立て、「コーダイを変えたい、変えよう」という思いで教育部門の改革を目指して参りました。しかし、活動中に見えた課題や積み残したテーマも幾つかあり次年度への継続テーマとなりました。

具体的な活動内容は次の通りです。

1. 教育部門が取り組む課題を挙げ、教務委員会、曜日 CD 会議で意見交換を図ると共に、曜日部長にも課題解決テーマを割り振って検討を重ねてきました。そして、2019 年度から一部実施できるところまで来ました。今後、順次実施できる方向で継続活動致します。一例としては、本年度から「社会への参加活動」にコーダイからの提案内容も取り込み、また集中型活動から分散型活動の徹底を図りながら 2 年がかりで定着化させる様にしました。
2. また、従来から実施していました午前の教室訪問は、受講生との接点を増やせる午後に重点を置き、コーダイの考えに共鳴し共に活動して頂け人材発掘に努めました。新しい人材発掘や本年度以降、我々とともに活動して頂ける人材発掘が少し出来ました。しかし、著しい効果が出るには今しばらく時間が必要で更にシステム化を進め継続して実施致します。
3. 教務委員会、曜日 CD 会議など多くの CD の皆さんと限られた短時間の会議の中で審議時間をより多くとるための工夫をする必要がありますが、各会議の内容を共有化し易くするために全 CD に議事録配信を実施しました。審議の仕方、テーマの選出等々に課題がまだ少しありますが次年度以降も会議内容の改善を進め、より効果が出る様に致します。
4. コーダイの中核をなす CD に対する研修は 4 月の合同 CD 研修(1 回)、5 月の新任 CD 向けフォローアップ研修(5 回)、同じく 1 月～2 月の新任 CD 研修(6 回)を行いました。当初念頭に置いていた通年研修とまで行かず今後の課題として残りました。同時に CD が日常困ること、知っておいた方がよいことなどの資料を取り込んだ新 CD マニュアルを新たに作成し、新任 CD 研修の教材に使用すると共に全 CD に配布しました。最終的には CD のバイブル的な位置づけに持って行きたいと考えています。
5. カリキュラムの改善ツールの一つとして振り返りアンケートを 7 月から導入しました。結果一口レポートでは見えない部分が多く散見されました。今後、導入過程で判明した課題に修正を加えて、ベターな方向を目指して継続実施してまいります。

<本科教務部>

本科は昨年度より 2 科目増え 53 科目となりました。教育部門の課題対応を実施しました。結果は前述の通りでした。

<実践研究部>

実践研究部は S A を含めて昨年同様の 12 科目です。本科同様に教育部門の共通課題の対応を実施し、結果は前述の通りです。特に実践特有の運用システムについてはも

う少し見直しが必要です。次年度からは実践研究部を無くし、より活動の効率化を図るために本科・実践研究部を統合して教務部として活動致しました。

<学習事業推進部>

今年度は10周年と云うことで、スポーツ交流大会、高大祭、10周年記念式典を丸善インテックアリーナ(大阪市中央体育館)の大会場でコーダイフェスタ2018として1月22日、23日の2日間開催し、5千数百人が参加されました。初日の午前はスポーツ大会予選、午後は10周年記念式典・フラメンコ・ジャズ演奏・YMCAダンス・コーダイフェスタ大合唱団・シンポジウム・展示、演芸がありました。翌日はスポーツ大会決勝・展示・演芸・バザー・模擬店、また国際交流としてアフリカンドラム・台湾演舞、健美操、河内音頭など多彩な内容のコーダイフェスタとなりました。そして2日連続の長丁場でしたが多くの実行委員の皆さんの努力で成功裏に終了しました。一方では、同時開催の為プログラムがバッティングし充分見られなかった、会議室での演芸披露なので、会場としての設備への不満等がありました。

<校友会連絡部>

1. コーダイBSC部門と協力して、校友会への入会募集活動を推進いたしました。
2. コーダイ主催のコーダイフェスタ及び夏・冬の音楽会等に参加協力をいたしました。
 - (1) コーダイ主催の行事に参加し、校友会入会募集活動を促進いたしました。
 - (2) コーダイと校友会との共催で実施する親睦一泊旅行への参加協力を推進いたしました。
3. 7月にコーダイ同窓会フェスタを実施し、高大同窓会推進協議会として受講生と会員相互の融和と結束を図りました。

<シニアスポーツ連絡部>

1. 生涯スポーツディレクターのコーダイグループは、シニア向けニュースポーツの出前サポートに協力を行いました。
2. 「大阪マラソン」に545名、「大阪国際女子マラソン」に239名のボランティアが参加し、大阪府及び産経新聞社から多大なる謝辞を頂きました。
3. (公財)日本相撲協会との提携で大阪場所の切符斡旋を行い、約90名の方々に大相撲大阪場所を楽しんで頂きました。
4. 脳トレの一環として、コーダイ・校友会合同「スポーツ健康麻雀大会」を2回実施(5月と9月)しました。

<修了式>

今年度は合同修了式を止め、クラス単位の修了式に切り替えました。欠席者が多いこと、型にはまった修了式であったこと等の反省に立って、クラスの独自性を発揮し易い各科単位の修了式にしました。そして、多くの受講生が出席する成果発表会と同じ

日に実施する方向で進めました。その結果、出席者が多かったこと、先生から直接修了証書を授与されるクラスが増えたこと、当然のことながら先生の参加が増えたこと、修了証書を自作する科独自のアイデア等を取り込んだ修了式となりました。

<修学旅行>

修学旅行は1泊2日を推奨していますが、まだまだ宿泊修学旅行のウエイトは低く1/4程度です。遠くは北九州、韓国へも行かれています。日帰りでは滋賀県、兵庫県のウエイトが高く、特に近江八幡に出かけるクラスが多くありました。

実施日（平成31年3月11日～3月26日）

地 域	日 帰 り	宿 泊	日帰りと宿泊
近畿(大阪、京都、奈良)	10	5	1
近畿(滋賀、和歌山、兵庫)	31	3	2
東海(愛知、三重、岐阜)	2	3	—
山陽(岡山、北九州含む)	5	2	—
海外(韓国)	—	1	—

<クラブ活動>

昨年度とほぼ同じ27組のクラブ活動の登録がありました。その内、約2割が新しく出来たクラブ活動、8割が昨年度と同じクラブ活動です。後は新しいクラブ活動の比率が上がることや校友会とのコラボが出来る事などいろいろな楽しみもありました。

2018年度曜日別クラブ活動一覧表

曜 日	ク ラ ブ 名	科 目 名
月/1	校歌をうたう会	音楽を楽しむ科
2	高大朋映詩吟クラブ	歴史に輝く先人たちの生き方に学ぶ科
3	高大小楽会	歴史に輝く先人たちの生き方に学ぶ科
4	高大駅伝部	似顔絵のイロハを楽しく学ぶ科
5	日本文学愛好会	文書表現を楽しむ科
6	ノルディックウォーキングを楽しむ会	音楽鑑賞を深める科
7	英語で話そう	国際文化交流科
火/1	みんなのコーラス	音楽鑑賞を深める科
2	南京玉すだれ	音楽鑑賞を深める科
3	絵画を楽しむ会	基礎から学ぶ美術科
4	英語でおしゃべり	英会話を楽しむ科火曜コース
水/1	オカリナクラブ	歴史学近現代科
2	やさしいヨガ	自然文化を楽しむ科
3	歴史街道散歩クラブ	自然文化を楽しむ科

4	詩吟クラブ	もっと知りたい大阪の歴史科
木/1	美術館巡り	美の世界と美術散歩科
2	水彩専攻科倶楽部	水彩画専攻科
3	スマホ・アイフォンクラブ	IT・パソコン初級科木曜コース
4	史跡めぐり部	IT・パソコン初級科木曜コース
5	ハーモニカでも吹こう会	美の世界と美術散歩科
6	卓球クラブ	ボイストレーニングでシニアライフを楽しむ科
7	朗読クラブ	朗読を楽しむ科
金/1	社交ダンスで生き生き人生	フランスの魅力と初めてのフランス語を楽しむ科
2	歌体操クラブ	健康長寿を楽しく学ぶ科
3	笑いヨガクラブ	健康長寿を楽しく学ぶ科
4	高大ボーリングクラブ	野菜・花・樹木を育て楽しむ科
5	ものづくり研究会	科学を学びものづくりを楽しむ科

●教科研究部門

生涯学習の将来を見据え、時代の流れや環境の変化を先取りし、魅力あるコーダイを構築し続ける部門として「ゆとり、楽しさが味わえ、笑顔あふれる活動」をモットーに「わくわく・ドキドキするカリキュラム開発・講師の発掘」を図りました。また、百の理屈よりも一つの実践を基本に考え、まずは実践行動をしましたがまだまだ課題が残りました。(PDCA から Do-CAP へ)

今期の主な活動実績は次の通りです。

1. 講師、CD、受講生の皆さんに、「三現主義」を実践し、CD から見える分野担当を徹底し信頼を得るように努力致しましたがまだまだ不十分でした。
2. 「先駆的なカリキュラム」の構築「魅力ある講師」の発掘を進め当面の課題は解決しましたが、中期的な講師確保への課題解決には至りませんでした。総科目の開発は昨年同様 67 科目でした。SA 養成講座 (3)、本科 (52)、実践研究部(12) 新規科目開発は 6 科目、科目内容が分かりにくい 9 科目について科名改称を実施しました。
3. 講座改革委員会の効率的運営を図りました。(開催頻度、時間の見直しを実施)
4. 講座改革の運営組織として、自由度の高い「サポーター制度」を導入し運営しましたが十分に機能しませんでした。今後、メリハリをつけて CD の皆さんに支援いただく分野別専門委員会を実施することが必要です。
5. 「講座提案制度」を継続的に実施し、59 件の提案を頂きました。その中から新規科目が 1 科目誕生しました。現状は制度の認知度がまだまだ不十分ですので、更に啓蒙活動をして参ります。
6. 教科研究部長の兼務を解き専任化を進めましたが、道半ばに終わりました。又「人財バンクシステム」構築については人的パワーの関係で当面、凍結を図りました。
7. 「高大生の総合意識実態調査」、「健康寿命調査」の内容・項目数を見直し、実施・回

収・集計分析を致しました。又、結果を受講生・スタッフ他にタイムリーに情報公開しました。今後、コーダイの運営に活用します。

8. 「市民公開講座」を実施し全般的に好評でした。しかしながら歴史分野に偏りがみられるので他分野に拡大することが課題です。

●事業部門

<事業企画部>

1. 文化庁助成金事業：伝統文化親子教室

2018年7月21日(土)第1回を開催し、同年11月17日(土)まで全5回開催しました。大阪府中央区内の小学校下級生を対象に、折り紙(エンドレスカード)、磁石で動くキツネや蝶々、万華鏡、紙飛行機などを親子で作成し伝統文化の継承に貢献しました。創立10周年記念コーダイフェスタ(2019年1月22、23日)で作品を紹介し来場者に本活動の趣旨を理解してもらいました。

2. 養父市学習連携事業

養父市との学習連携を円滑、発展的に進めるため学習連携連絡会議を2回、担当者会議を1回開催しました。コーダイフェスタの物産店では養父市の特産品を販売して頂き来場者から好評を博しました。また本年度の養父市の訪問者は「養父市に行ってみませんか」のPR効果もあり、コーダイOB団体や修学旅行(3教科)で合計146名に達しました。

3. 新規移管事業

大阪アクティブシニア協会の解散に伴い、大阪出前サポートバンク事業を本校に移管し、外部有償、無償のイベント活動を推進して参りました。具体的内容は船場デイサービス向け有償出前講座、近隣小学校向け無償いきいき教室、企業団体向け有償出前講座6件です。

<イベント部>

1. 普通救命講習会

大阪府中央消防署により「心肺蘇生とAEDの使い方」の講習会を6月13日(水)、9月27日(木)の2回実施し、29名の参加がありました。

2. 特殊詐欺対策講習会

年々増加傾向にある振り込め詐欺や還付金詐欺防止の講習会を、9月10日(月)大阪府東警察署のご協力の下実施しました。56名の参加がありました。

3. お酒のうんちく講座

今回で4回目。2019年2月8日(金)、アサヒビール(株)のご協力により焼酎の歴史、醸造方法、銘柄や種類等の講演をして頂き、最後に試飲をして確認致しました。

4. 第7回サマーコンサート

8月26日(日)エルシアターにおいて、弦楽四重奏ドルチェ、日野綾香(ソプラノ)他4名の出演による恒例の夏の音楽会を開催しました。来場者は486名でした。

5. 第 11 回いずみホール音楽会
2019 年 2 月 16 日(土)いずみホールにおいて、大阪音楽大学ジャズオーケストラ、小柳淳子の出演による創立 10 周年記念行事として、恒例の 1 年を締めくくる音楽会を開催しました。来場者は 416 名でした。
6. 四天王寺歴史探訪「四天王寺の歴史に学ぶ」
2019 年 2 月 2 日に計画していましたが、都合により中止致しました。

<被災地支援部>

1. ホットネット大阪
7 月 8 日(日)開催予定の避難者交流会は悪天候のため中止されました。
2. 東日本被災者支援事業
 - ・被災者との交流会を年間 3 回開催しました。
 - ・東日本被災地復興支援旅行は今回で第 6 回目の実施となりました。8 月 27 日(月)から 29 日(水) の 2 泊 3 日の旅行で 訪問地は宮城県南三陸町、福島県
相馬市・富岡町・いわき市、茨城県ひたちなか市で 参加者は 36 名でした。

●情報管理部門

<教務事務部>

1. 受講生 2,763 人の集計管理と受講生台帳と出席簿の学期単位のデータベース化並びに修了証書、皆勤証書の発行を行いました。
2. CD の交通費と講師の謝金の管理システムにて円滑に運営しました。

<システム部>

1. 募集データの集計システムと個人情報の管理、入学準備の体制づくりを行いました。受講生 2,763 人募集データの集計システムと個人情報の管理、入学準備の体制づくりを行いました。
2. 募集申し込みを、ホームページから出来るシステムを導入し 800 人以上の利用者がありました。

<子ども事業推進部>

1. 「法円坂子どもプラザ」 科学実験とモノ作り教室を 3 クラス 95 人体制で年 8 回開催しました。
2. 第 3 回「大阪科学フェスティバル」は天王寺区民センターで約 1,500 人の入場者で開催しました。
3. 「パソコンお絵かき教室」は近隣小学校・幼稚園を中心に 8 回開催しました。

<ホームページ部>

1. リニューアルしたHPでアクセス数が倍増し、募集要項、オープンキャンパス、講座説明会、カリキュラムと募集の情報をタイムリーに最新情報を提供しました。
2. コーダイ「イベント」の告知と報告のスピードアップ化を図りました。
3. クラスブログは27クラスと4クラブがコーダイホームページにリンクしました。

●BSC 部門

1. SA 講座修了生を対象にシルバーアドバイザー大阪府知事認定証取得に関する業務を遂行、10月に授与式を府民カレッジ、区民カレッジと合同で開催しました。今年度は31名の方がSA認定証を取得（区民・府民カレッジ50名、併せて81名）されました。
2. 9月には2回に亘り、ボラバス（社会貢献バスツアー）を企画、受講生、CDを中心に50名の方々が参加し社会貢献活動をされている5団体を訪問・見学・実活動体験学習を行いました。
3. 『修了後の活動の場』とし、10月および翌年1月の2回亘り開催しました。前半は、校友会（高大同窓会、SA連協、SAネット大阪、同期同窓会）に入会・社会参加活動されている方々から、活動主旨・概要説明を行い、社会参加活動へのきっかけ作りや具体的な活動実施例の紹介、後半は各地域別に分かれて、活動内容の紹介と併せ、入会案内を実施しました。
4. 新たに社会参加活動を企画されているグループから『DDS』の申請があり、これらのグループの活動内容の発表会を2月に開催しました。今年は7グループと併せて日常活動されている4件のグループからも特別発表に加わって頂き開催しました。
5. 長年に亘り社会参加・貢献活動をされている団体（個人）からの活動実績を『KOU DAI AWARD』として募集、9件の応募がありました。外部審査委員会において、『KOU DAI AWARD』大賞、準大賞、3件の奨励賞が決まりました。2月にはこれらグループの表彰式・発表会を開催しました。

●戦略部門

<戦略部門>

〈調査・政策部〉

1. 関西および首都圏シニアカレッジ等との交流会について
本年度は7回目の関西シニア大学校交流会となりコーダイが幹事校として、昨年10月26・27日の両日大阪府において開催しました。昨年の首都圏との交流経験からメリットを実感できるような交流内容を検討しました。そうしたことから7月11日の勉強会では関西シニア大学校の「メリットある連携」について論議を展開しました。
2. 「コーダイグループ構想」の検討
コーダイが過去から培った運営手法を「コーダイ方式」とし、グループの最大関心事であるコーダイの財務基盤や、人的な充実を図りながら、コーダイを取り巻く校友会や同窓会活動を含めた幅広いグループの取組として活動を図るための基盤づくりに

取り組みました。

3. 特別教材の活用に向けて

特別教材を活用したカリキュラム上の取組等により年度ごとの社会参加活動や、DDS・KOUDAI AWARD 制度にみられる対外的な活動から活発な活動展開が展開されています。

<人材発掘事業開発部>

◇「ゆめサロン」の活動

昨年開設した「ゆめサロン」を受講生主体の自主的な活動として継続するため取組を展開しました。その中で「ゆめサロン」として活用するスペースを確保するため関係団体と折衝を重ねてきましたが、想定外の運営コストが必要となり断念しました。ゆめサロンで提案された意見や取り組みには、コーダイとして実現していくもの、地域で取り組むべきものがあり、今後も機会を捉えて「場づくりを」検討します。

●広報部門

<広報誌>

広報誌「れいんぼー」は年4回（1、4、7、11月）をオールカラーで発行。受講生からの投稿記事（クラス行事、「思い出の1枚」など）を取り入れ、受講生参加型の広報誌を推進しました。又、企業広告を4回掲載し経費削減に寄与しました。

<パブリシティ>

プレスリリースによる取材依頼はもとより、電話やメール等により直接メディアの担当者に働きかけを行ない、新たにリリース先を開拓する等コーダイの知名度アップに努めました。結果、連載記事の掲載等、効率的なPR活動が出来ました。

<企業対応>

新人受講生獲得を目的に企業の協力を依頼し、募集要項・広報誌「れいんぼー」等の資料を企業OBに対し、配布・PRを行いました。また、10周年記念のシンポジウムでは、経済界から基調講演を賜り、コーダイへの期待とエールを頂きました。

<ファンド部>

積極的に賛助会員の募集を行い、多くの入会者が得られました。11月19日には、当大学の運営及び活動が公益増進に貢献しているので大阪府条例指定を受けました。

●総務部門

平成30年度は、講座65科目を4会場（教育会館、福社会館、住之江教室、森之宮ホール）にて、受講していただきました。特に語学関係については新たに福社会館を利用することからパソコン、アンプ、ボードかさ上げ台等でご不便をお掛けしましたが、福

社会館のご理解を得て少し改善できたと思います。

<経理部>

大阪府条例指定の認証取得は平成 30 年 11 月 19 日に認証を取得いたしました。その結果、認定 NPO 法人継続の条件のひとつ年間 3,000 円以上の受け取り寄附金口数が 50 口で可能となりました。引き続き、経理処理についてはさらなる精度向上にむけて努めてまいります。

<事務局>

1. 高大事務所の 6 階西側のスペースを賃借し府民・区民カレッジ等の組織に賃貸し事務所狭隘の解消を図りました。また美術関係の道具類の保管用倉庫(倉庫 B)も併せて賃借しました。
2. 印刷事務機の更改について高速、ソート機能等を有したゼロックス機器 2 台と RISO 印刷機 1 台の導入をしました。

●募集委員会

募集委員会は第 1 回を平成 30 年 4 月 20 日に開催し、本年 3 月 8 日までに 15 回（1 回は台風で中止）開催をしました。「2019 年度受講生募集」に係る基本方針を募集要項として設定しました。募集開始日を平成 30 年 10 月 1 日、締切りを 12 月 6 日午後 5 時までといたしました。講座改革委員会で各科目の課題を抽出し、多角的に検討をした上で、新しい講座の開設や数科目について科名変更を行いました。募集人数についても、学習環境にふさわしい人数の設定を行いました。その基本計画を大阪府に説明の上、大阪府の広報発表を 9 月上旬に実施していただくよう依頼をいたしました。募集の基本は従来通りで、次のとおりです。

*コーダイを初めて受講される「優先入学制度」を訴求に、新規入学者の勧奨に努めました。

*年齢制限・居住制限に関わらず自由に受講していただけるようにしました。

以下に主たる募集活動の内容を列記いたします。

1. 2019 年度は本科 52 科目、SA 養成 3 科目、実践研究部 12 科目の計 67 科目、2851 名の応募計画を立てました。新科目として「IT・デジタルフォトアート」、「源氏物語の面白さを学ぶ」、「ボイストレーニングを楽しむ科火曜コース」、「ローカル文化探検」、「IT・パソコン Web デザイン」、「IT・プログラミングを楽しく学ぶ」の 6 科を開講しました。更にカリキュラム内容などの充実と受講生のニーズに対応すべく 8 科目について科名変更を行い、継続受講が可能となるようにしました。
2. 募集要項は 32 頁冊子を 1 万 7 千部、4 頁リーフレットを 5 万部印刷をしました。32 頁冊子は受講生に 3 部、電話などでの問合せ者に対して配布しました。校友会を中心としたコーダイグループ団体にも配布し、新人獲得のための勧誘活動をお願いしました。4 頁リーフレットは大阪府(递送便)を通して各市町村、並びに大阪市(递送便)、堺市の各区役所関係の公共施設への配架・配布を依頼しました。大阪市サービスカウンター

3ヶ所、ピース大阪の地下鉄ラック5ヶ所に配架をしました。

3. 受講生募集の広報として、大阪府政だより、大阪市・堺市の各区役所の広報誌への掲載を依頼しました。更に大阪市立生涯学習センター発行の『いちょう並木』に9月から11月に3回募集、オープンキャンパス、講座説明会の案内広告や朝日・読売新聞大阪版に講座説明会開催の案内広告をしました。NHK ラジオに依頼して、「講座説明会のお知らせ」としてアナウンスしていただき、その反響により問い合わせや募集要項請求等があり対応をしました。
4. 大阪府市の逓送便で各市町村、区役所の公共施設等に募集要項4頁リーフレットを配布していただいておりますが、各公共施設にお任せをしている現状です。高大としての事後管理が十分にできていない面があります。募集要項が配架棚になく、催促ある等、対応が十分できていない面があります。次年度の課題として検討をしていきたいと考えています
5. 応募者の中にはコーダイの講義がどのようなものなのかを知りたいというニーズがあります。その対応としてオープンキャンパスを2日間開催し対応しました。本年度は初めて語学関係科目のオープンキャンパスを大阪府福社会館で行いました。初めての方が多数参観されました。
6. 講座説明会は新人の獲得のための有効な方法として実施するもので、本年度はコーダイ、大阪市北区梅田、豊中、吹田、茨木、枚方、堺の7会場で延べ9回実施しました。しかしながら延べ参加者は昨年度に比して減少しました。申込み率は良かったのですが参加者の減少は今後の講座説明会の在り方に課題を残しました。次年度の募集委員会での重要検討事項と位置づけております。
7. コーダイホームページによりコーダイ検索の閲覧数も大きく伸びております。昨年度よりホームページでの申込み受付を行っており、本年度は843名と昨年度より大きくのばしております。今後は更に伸びるものと思われれます。
8. 活動の結果として、受講生数2,800名、新人830名、男女比45%：55%、平均年齢70.1歳でした。2019年度は過去最大の受講生をお迎えすることになりました。

●コーダイ・なにわの宮会

コーダイ内の縦割りの組織に“いい風”を吹き込み、全コーダイ内の垣根を取り除くべく「コーダイなにわの宮会」の第2期プロジェクトが2018年6月に理事長を含め12名でスタートしました。

1. 西日本豪雨災害支援義援金の募集と贈呈
2018年7月上旬の岡山、広島、愛媛各県を中心に襲った豪雨で被災された人を支援すべく義援金のお願いをし720,458円の義援金が集まり、義援金の贈呈を行いました。
2. 「理事長と語ろう、OKALS-V ってなに？」活動
“ボランティアによるコーダイの高度な学びのシステム” OKALS-V を受講生に周知してもらうことを目的の一つに受講生と理事長との意見交換の場「理事長と語ろう、OKALS-V ってなに」活動を展開しました。前年度の希望する科への訪問から、埋もれた意見も

聞くためなにわの宮会で訪問先を決め、33科で実施しました。自由に受講生の意見・要望を聞き理事長に回答、対応して頂き、有意義な意見が多く出ました。「コーダイに来て本当に良かった。感謝している」など本当に有難く嬉しい気持ちになる意見も多く頂きました。

3. 川柳広場

広報紙、レインボーを受講生の誌上交流の場として、期ごとに「お題」を設けて川柳の募集を4回実施しました。各期の応募より選ばれた特選句、準特選句をフェスタのカフェ会場において受講生の投票を行い、年間の川柳大賞を決定し盾表彰しました。

● 創立10周年記念式典

コーダイは、新年が明けました1月22日(火)に「祝・創立10周年記念」式典及び記念講演、シンポジウムを丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）にて開催し、来賓80数名、受講生・校友会及び同窓会、さらに姉妹校の大阪区民・府民カレッジ並びに、一般市民の多くの皆様からの参加を頂き、2,700名を超える多くの方々をお迎えして盛大に記念式典行事を開催致しました。式典では、来賓として行政・官公庁関係者及びコーダイ講師、生涯学習校仲間、関西シニア大学校交流会メンバー校からの参加、マスコミ関係者など広く参加を頂きコーダイ関係者と共に盛大且つ厳粛な中での心に残る記念式典を実施しました。また、コーダイ10周年の基礎を築かれました7名の皆様へ功労者表彰の授与を実施しました。更に、式典の後のイベントとして、フラメンコ舞踏・ジャズ演奏で華やかに花を添えて頂きました。別会場では、関西電力(株)相談役の森様による基調講演を頂き、さらに続いてパネルディスカッションの開催とプログラムも盛り沢山に企画致しました。

広報としては、校名の愛称及びコーダイロゴマーク並びにスローガンについて受講生とコーダイ関係者から募集し、多くの方々から応募を頂きました。沢山の応募作品の中から選考委員会にて厳選な審査を経て、①校名の愛称として“コーダイ”及び②スローガンは“ともに学び ともに楽しむ”に決まりました。

『祝・10周年記念』式典は、2年間に亘る10周年プロジェクト委員会活動を通して委員の皆様をはじめコーダイ関係者の皆様には長期に亘る委員会活動及び準備作業、又本番業務へと大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

● 大阪万博プロジェクト委員会

2025万博の開催地が大阪に決定しました。大阪にとっては55年ぶりの国際博覧会となる嬉しい出来事と言えます。ロシアのエカテリンブルグ、アルデバイジャンのバクーとの開催地戦いを制しました。コーダイは一昨年、勝手連としてプロジェクトを立ち上げ、開催地の誘致の応援を行って来ました。大阪府や日本万博誘致委員会からの依頼で盛り上がりをも高めるために市民からの署名集めや委員会の会員登録などに協力をしました。特に受講生の協力を得て、約400名の署名を集めて、大阪府に届けました。年初に松井知事と理事長の面談の機会があり、その場において知事から謝意の言葉がありました。またコーダイ

創立 10 周年記念であるコーダイフェスタの式典の折りに大阪府高齢介護室長からもコーダイの万博誘致に対する支援活動に対してお礼の言葉がありました。一方、一昨年大阪府に提言した「健康寿命に対するコーダイ受講生の意識調査」を昨年 1 月～2 月に実施し、受講生 1,953 名(全受講生の 72%)から回答がありました。その結果を受講生に報告いたしました。指導を頂いた大阪大学大学院大橋教授へ報告し、大阪府高齢介護室へプレゼンをいたしました。その資料は高齢介護室から万博誘致推進本部へ届けて頂いております。更に産経新聞が調査結果を取り上げ、詳細な記事として掲載されました。

●NPO法人大阪区民・大阪府民カレッジ

1. 平成 30 年度、大阪区民カレッジ (以下 OKC とする) は中央校、北校、城東校、東成校、天王寺校、西校の 6 校にて受講生 256 名、そして大阪府民カレッジ (以下 OFC とする) は東大阪校、ひらかた校に加えて堺校、富田林校、八尾校、大東・四條畷校、豊能校の 5 校を開校し 計 7 校、受講生 261 名を受け入れ、地域密着カレッジは合計 13 校 : 受講生 517 名となりました。
2. 行政区分により、大阪市内は OKC が、大阪府下は OFC が運営しますが、主旨は同じですので、協働して運営しております。
3. 大阪市内、大阪府下に地域カレッジの設立の準備を進め、OKC はみなと校、OFC は池田校、北野田校の準備室を設立しました。
4. 受講生募集活動は新規立ち上げ校の知名度不足もあって、定員未達校があり、また、開校費用等、費用先行型となって、収支はマイナスとなりました。